

私たち中高生が描く 鹿角の未来

かつの未来の若者会議提案書

— “もっと鹿角が楽しくなる!!” 総合計画に —



令和7年2月3日

鹿角市長 関 厚 様

鹿角市の未来を考えるために、私たちは「かづの未来の若者会議」に参加し、ここに暮らす市民の一員として、まちづくりの方向性について議論しました。

会議では、自分自身の夢や目標と鹿角の未来を重ね合わせながら、3つのグループに分かれて鹿角の「強み」や「弱み」を見つけ出し、強い部分はもっと良くなるように、弱い部分はチャンスに変えていけるような提案をまとめました。

若者が参加できるまちづくり、若者の夢がかなうまちづくり、そして、若者にとって“もっと鹿角が楽しくなる!!”ように、私たちみんなで考えた提案を総合計画の見直しに生かしてほしいと願います。

令和7年2月3日

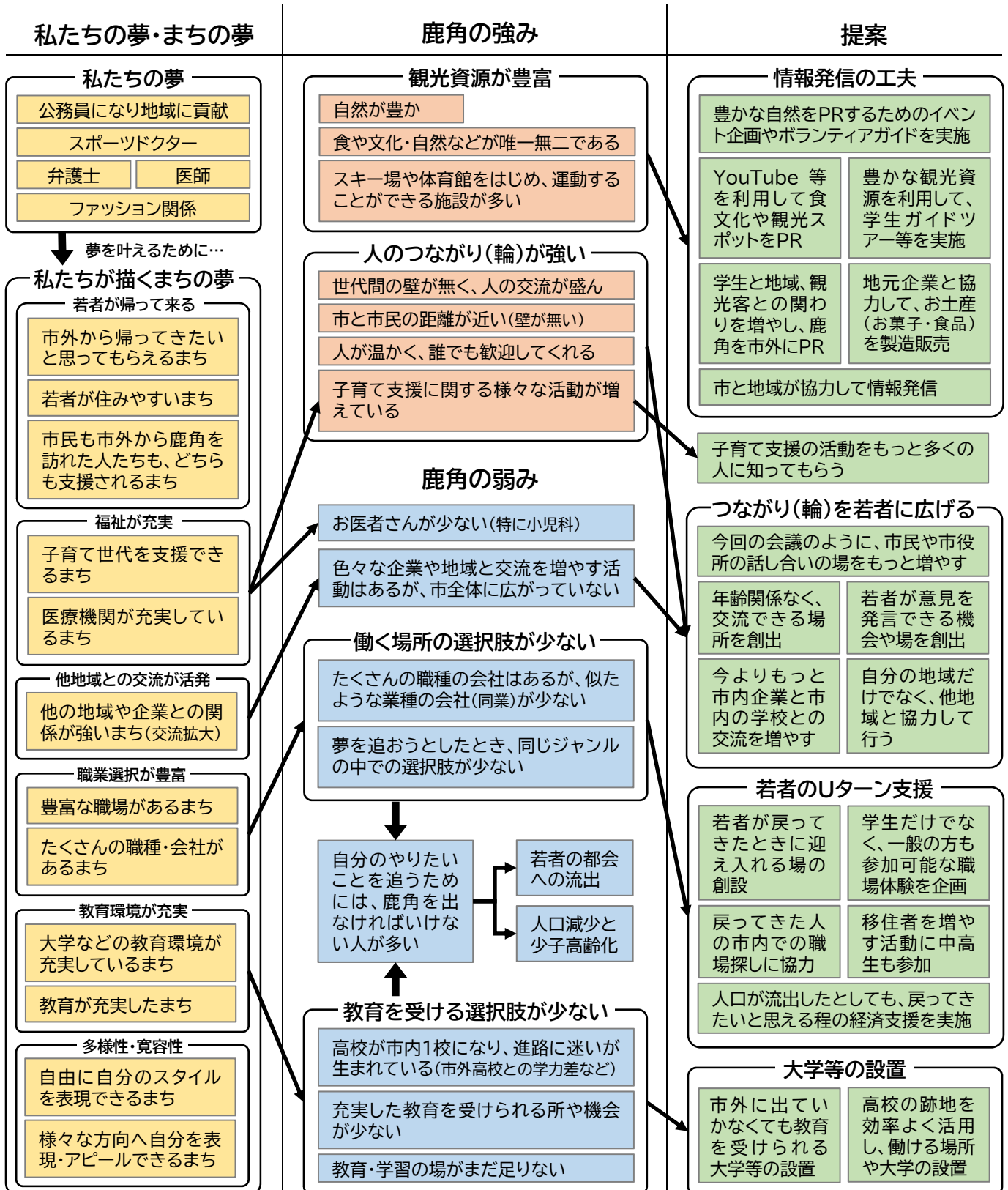
かづの未来の若者会議一同

Aグループの提案

人と人の“輪”が若者に希望を与えるまち・鹿角

- ◆ 市民同士のつながり(輪)が強いまちから更に飛躍し、企業や大学と協力しながら、将来を担う若者に希望を与えていくまちづくりが必要です。

【凡例】 まちの夢 市の強み 市の弱み 提案

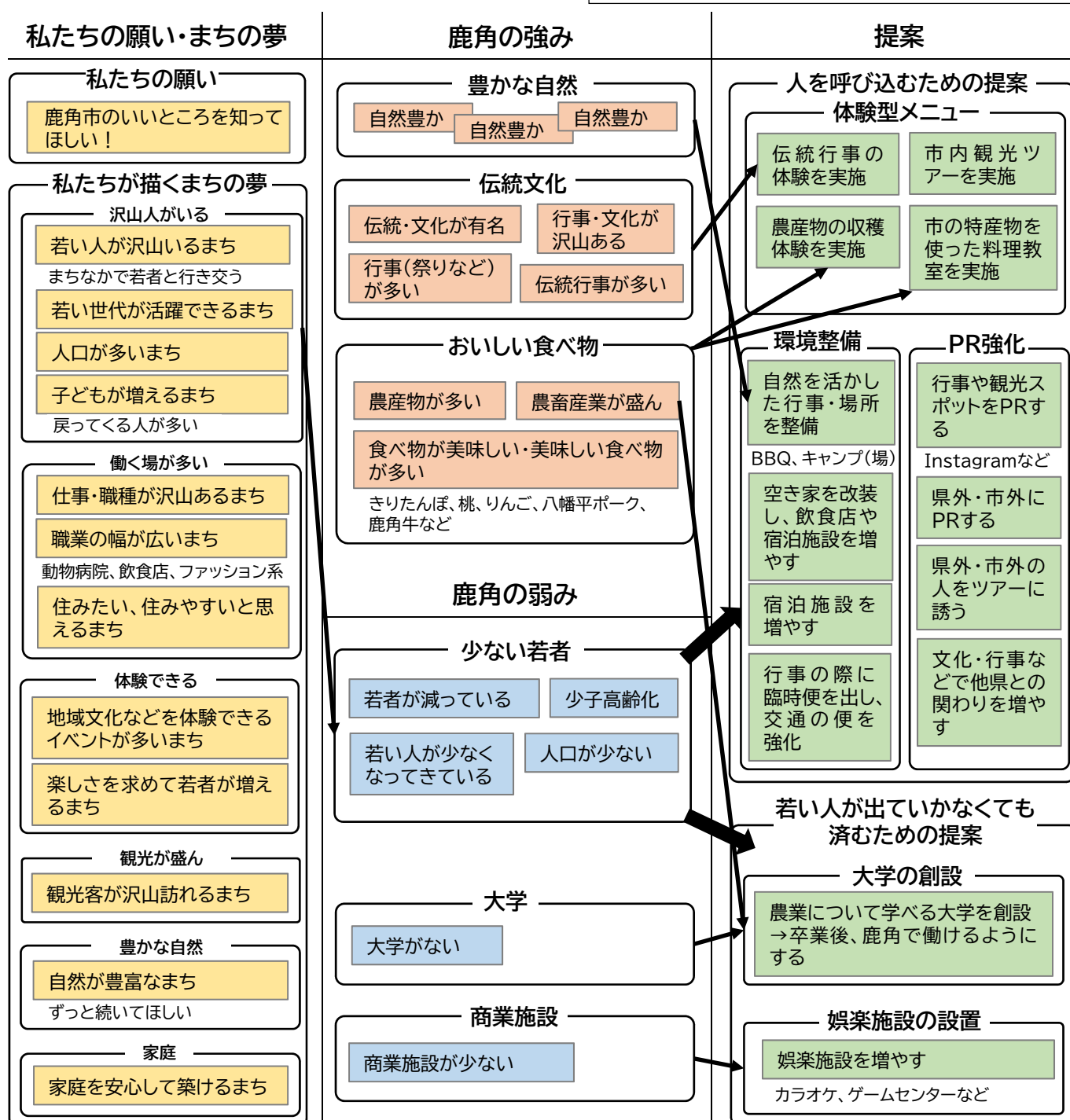


Bグループの提案

初めての方大歓迎！ みんなで取り組もう『鹿角プロジェクト！』

- ◆ 若い人を増やすために人をどう呼び込むか、また、出ていかなくても済む方法はないか、を検討しました。
- ◆ 人を呼び込むため、様々な分野で「体験型」のメニューが必要であり、豊かな自然を活かしたBBQやキャンプ(場)、美味しく食べる収穫体験、伝統文化を活かした祭り体験、観光スポットを巡るツアーを提案します。
- ◆ 若い人が出ていかなくても済むように、強みである農業を活かした農業を学べる大学の創設や寛ぐための娯楽施設の設置が必要です。

【凡例】 まちの夢 市の強み 市の弱み 提案

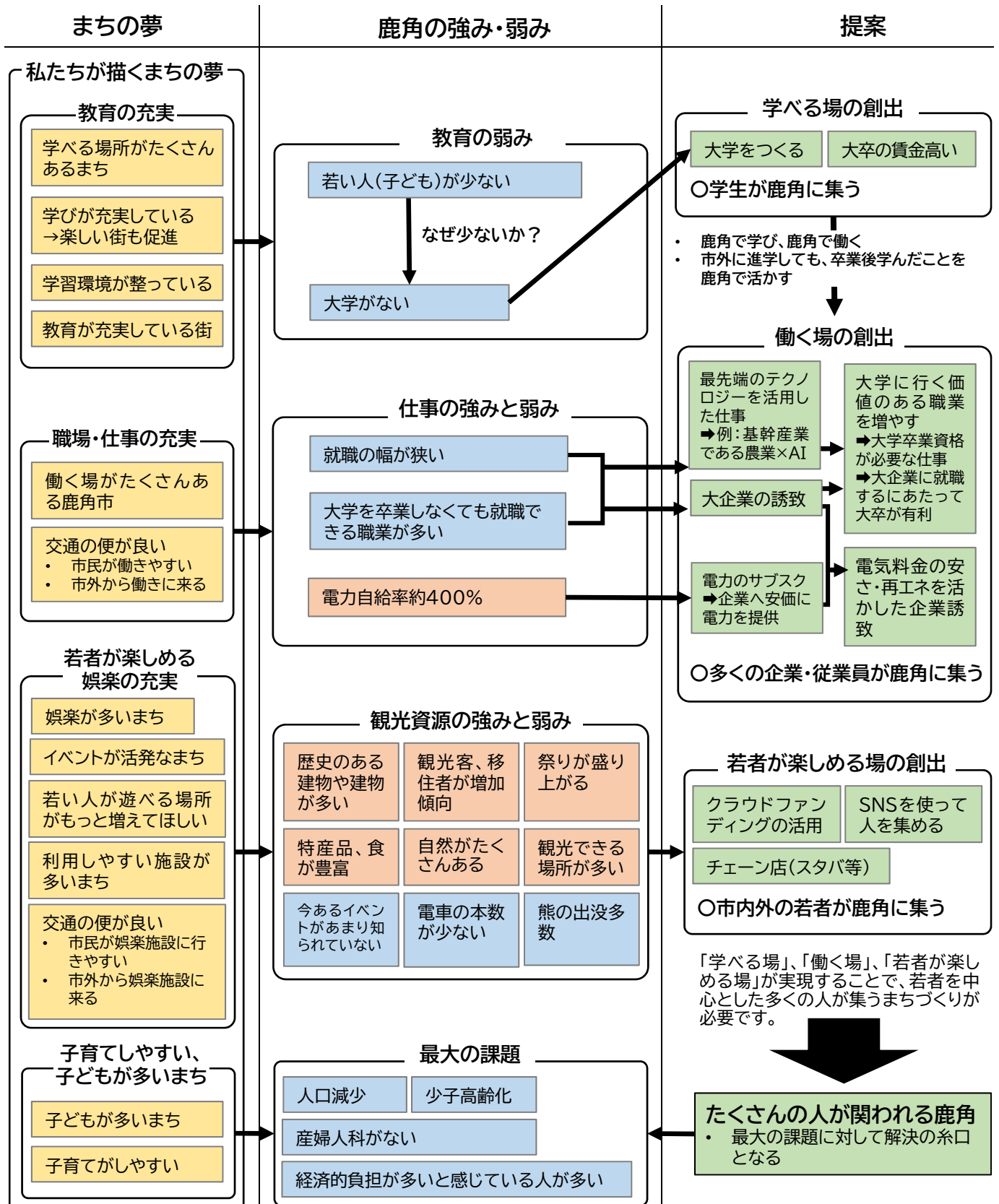


Cグループの提案

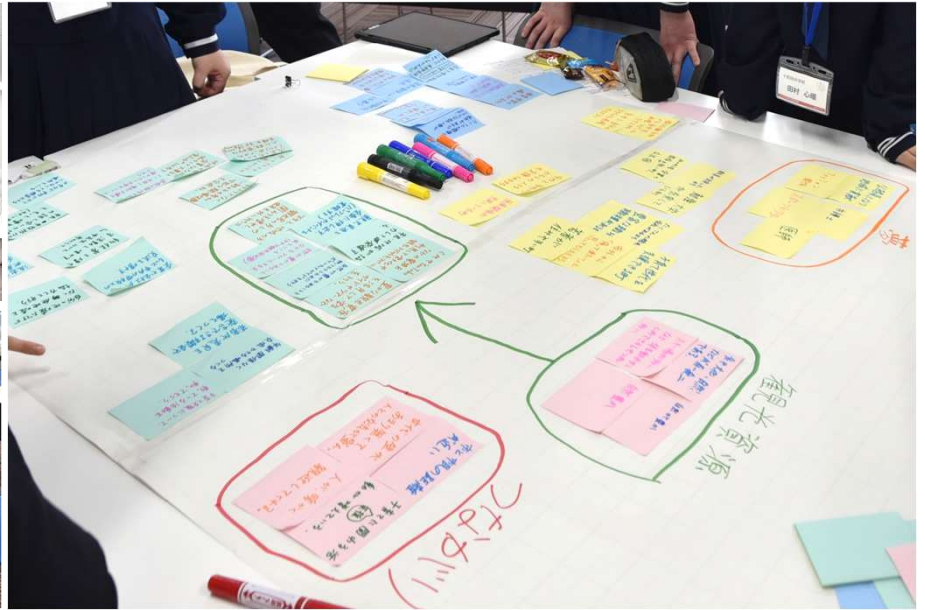
たくさんの人が関わることができるまち・鹿角

- ◆「学べる場」、「働く場」、「若者が楽しめる場」が実現することで、若者を中心とした多くの人が集うまちづくりが必要です。

【凡例】 まちの夢 市の強み 市の弱み 提案



活動の記録 (2025年1月7日／鹿角市文化の杜交流館コモッセ)



かづの未来の若者会議名簿

グループ	氏名	学校名	学年
A	◎ 栗木 晴叶	鹿角高等学校	2年
	井上 心	花輪中学校	2年
	田村 心暖	十和田中学校	2年
	平 彩菜	尾去沢中学校	2年
	中野 未織	八幡平中学校	2年
B	◎ 小館 向日葵	鹿角高等学校	2年
	三ヶ田ひなた	花輪中学校	2年
	大里 維月	十和田中学校	1年
	松岡 稜汰	尾去沢中学校	2年
	阿部 心紅	八幡平中学校	1年
C	◎ 内藤 雪乃	鹿角高等学校	2年
	浅水 佑一	花輪中学校	1年
	湯瀬 灯	十和田中学校	2年
	杉江 隼斗	尾去沢中学校	2年
	栗木 杏	八幡平中学校	2年

◎はグループリーダー





かつの未来の若者会議提案書

ー“もっと鹿角が楽しくなる!!”総合計画にー

令和7年2月3日